



ライト工業株式会社

RAITO KOGYO CO., LTD.  
CSR Report

CSRレポート 2016

2016





経営理念

# 新たな価値に 挑戦し 創造し続ける

## CONTENTS

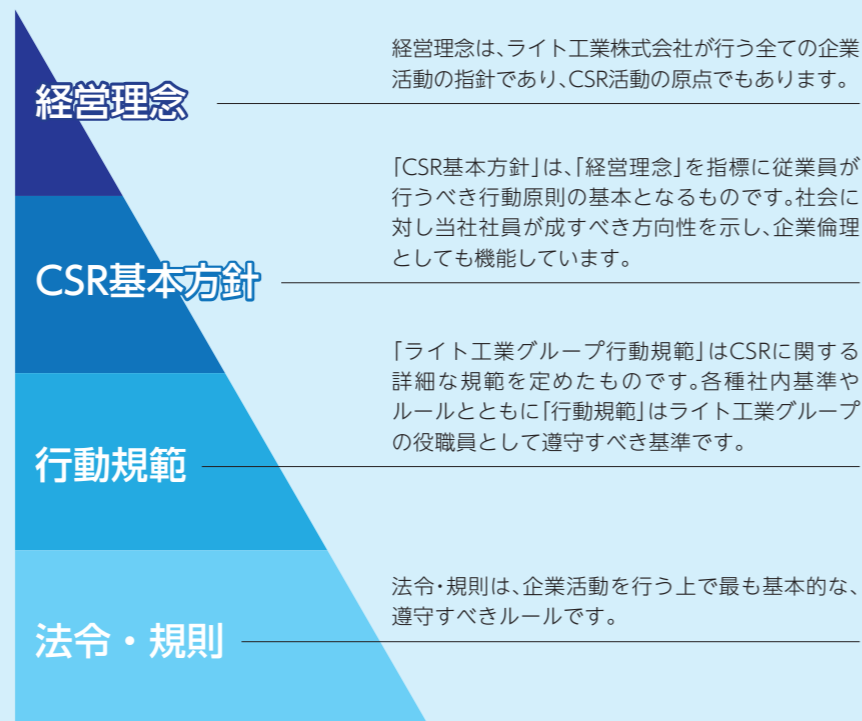
- トップメッセージ ..... 1
- 特集：中期経営計画 ..... 2
- ライト工業の事業 ..... 4
- 研究・開発 ..... 6
- 安全・衛生 ..... 8
- 環境への取り組み ..... 10
- チャリティ・社会貢献活動 ..... 12
- COLUMN ..... 15
- ステークホルダーとの関わり ..... 16
- コーポレート・ガバナンス ..... 17
- コンプライアンス ..... 18
- リスクマネジメント ..... 19
- 人権・労働慣行 ..... 20
- 品質管理 ..... 21
- 財務データ ..... 22
- 会社概要 ..... 24

## CSR基本方針

- 1 企業の社会的責任に対する社員意識の向上を促し、日々の生産活動において自己が行うべき責務を社員自らが判断し、責任感を持って社会の一員として業務を行います。
- 2 企業の存在は持続可能な社会のもとで成り立っていることを十分に理解し、社会に積極的に貢献するとともに地球環境の保全を行いグローバル企業としての責任を果たします。
- 3 事業活動におけるあらゆる場面で人権を尊重するとともに、ステークホルダーとの対話の機会を重視し、説明責任を果たします。

当社は、経営理念に掲げる「新たな価値に挑戦し、創造し続ける」を具現化するために、CSRの各分野に関する基本方針を制定・公開しています。社内外に有言実行の姿勢を示すことで、社員の意識を継続的に高め、ステークホルダーから信頼される会社、社員自身が誇れる会社を目指します。

### 経営理念・価値基準とCSR基本方針の関係



## トップメッセージ

### 国土の安全と安心を実現する 専門技術者集団として新たな価値を創り出し、 社会から信頼される企業を目指します。



代表取締役社長  
鈴木 和夫

平素は、格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も当社の技術や社会に対する考え方や取り組みをまとめた『CSRレポート2016』を発行いたしましたので、ご一読くださいますようお願いいたします。

当社は創業以来、常に時代の最先端技術に挑戦し、特殊土木分野を中心とした技術で社会インフラの整備に取り組むことで社会の発展に寄与してまいりました。また、いつの時代においても、『新たな価値に挑戦し、創造し続ける』という経営理念のもとに事業活動に注力してまいりました。

現在では当社の事業範囲は国内のみにとどまらず、米国や東南アジアを含めたグローバルな規模で展開しております。世界中のどの地域においても、お客様のご要望に迅速かつ柔軟に対処するとともに、地域で暮らす方々に安全で安心なインフラを提供していくことを目指しております。

2015年度、当社は各ステークホルダーの皆様のご多大なるご支援を頂戴し、過去最高益を更新することができました。今期この成果を踏まえて2016年度を初年度とする新たな中期経営計画を策定い

たしました。基本方針を「次世代へ繋がる体質の強化」とし、更なる企業価値の向上と持続的な成長を目指しております。

これまでは常に新しい技術を開発・導入することで成長してきた歴史があり、今後も継続的に行ってまいります。そのために必要となる研究開発を担う組織として今年度「R&Dセンター」を茨城県つくば市に新設し、次世代の核となる新しい技術の研究開発や事業分野の創造を効率的に推進してまいります。また、今、国主導で進められている建設分野における生産性革命ともいべきi-Constructionへの取り組みを当社専門分野にまで広げ、ICT、IoTを活用した施工の効率化や省人化、より多くのわかりやすい情報をスピーディーに提供できる管理技術の開発などを積極的に進めてまいります。さらに、従来の事業分野にとらわれない新たな事業の可能性も追求し、次世代に向けて強い事業の柱を多く持った企業を目指してまいります。

当社の成長を支えるもう一つの原動力である人材の育成についても積極的に進めてまいります。私が社員に期待することは、こだわりを持った確実な業務の遂行と、こだわりを捨てた豊かな発想を持って自ら考え、行動できるようになることです。

時代の先を行く技術と信頼される人の融合、これが、当社が「技術のサプライヤー」として将来にわたり、お客様の信頼を得て成長していける原動力になると考えております。

当社は、これらの施策を着実に実行するとともに、ステークホルダーの皆様の声に誠実に耳を傾け、企業価値の向上と新たな価値の創造を目指してまいります。

今後ともより一層の皆様のご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



# 中期経営計画「Raito 2018」

当社グループは、『新たな価値に挑戦し、創造し続ける』という経営理念を掲げております。いつの時代も創造し続けることで皆様が必要とされる企業を目指しております。

本中期経営計画では、基本方針として『次世代へ繋がる体質の強化』を掲げ、コア事業である專業土木分野においてはR&Dセンターを新設し、研究・開発体制をさらに強化するとともに、建築事業や海外事業などを含めたグループ全体での効率的経営を推進していくことにより、安定かつ確実な成長を目指します。

## ◆基本方針



## 中期経営計画におけるCSR

当社グループは、CSRとは事業活動そのものであると認識してCSR活動を推進しております。その上で、ステークホルダーの皆様には、当社グループが目指す姿をご理解いただき共有することが不可欠であると考えております。

企業として成長を目指すには、現在のみならず将来の事業環境の変化に対しても確実な対応が求められます。

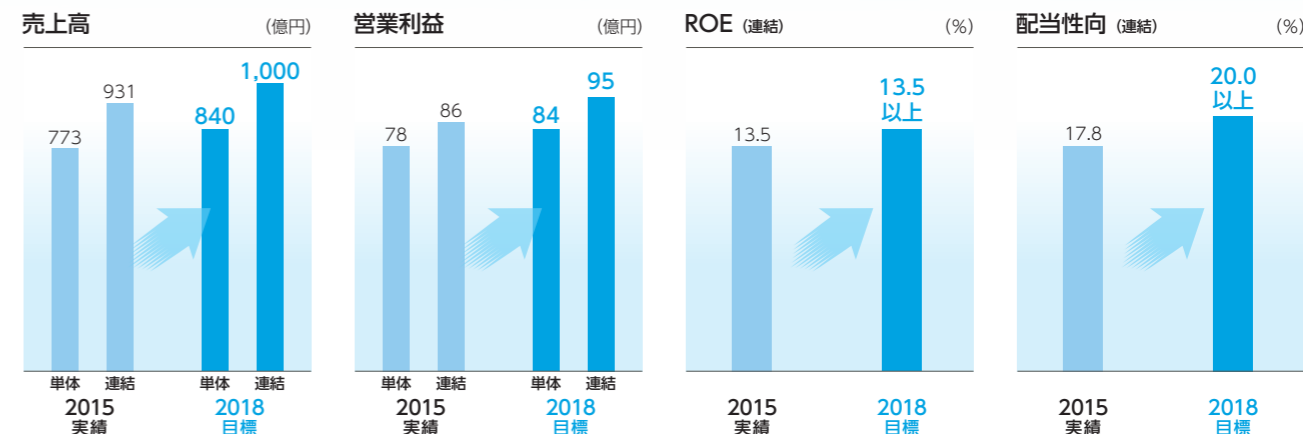
本中期経営計画は、当社グループが、変化の激しい時代に

においても持続的な成長を遂げることを目指して策定いたしました。企業としての持続性を高めつつ、ステークホルダーの皆様と成長の喜びを共有していけるよう企業活動に邁進し、『新たな価値に挑戦し、創造し続ける』ことを実現してまいります。

代表取締役社長 鈴木 和夫

## ◆経営指標目標

連結売上高**1,000億円**を目指して



## ◆事業強化戦略

- ### 1 專業土木事業強化戦略

成長を継続するための営業力と施工力の強化

  - グループ会社を含めた各拠点の特長を活かす営業活動の強化
  - 需要の多い地域や工種に対する見極めと経営資源の集中・移行
  - 更なる機械化の推進やICT技術の導入による労働者不足への対応と施工効率向上
- ### 2 研究・開発強化戦略

次世代を担う技術開発の推進

  - R&Dセンターの新設と、革新的なアプローチによる研究開発の推進
  - 次世代の市場への対応と、新たな市場創出を目指した新規工法の開発
  - 調査・解析や材料開発の強化による、保有技術のブラッシュアップと差別化技術の開発
- ### 3 建築事業強化戦略

首都圏のシェア拡大と東北の震災復興事業への貢献

  - 品質の確保と安全管理体制強化による高い顧客満足度の継続
  - 既存顧客の深耕と新規分野からの受注推進による営業力強化
  - 各部門における教育の充実と組織力の強化
- ### 4 海外事業強化戦略

総売上高の1割事業を目指して

  - 市場調査の強化による営業エリア・工種の拡大と経営資源配分の最適化
  - 各拠点における効率化の推進による経営基盤の強化
  - リスク評価の充実と収益性を重視した営業活動
- ### 5 安全・品質強化戦略

業界トップクラスの安全水準を継続

  - 人命尊重・安全第一を基本とした安全管理
  - 徹底した品質管理の継続による信頼性向上
  - 安全・品質管理能力に関する教育の更なる充実
- ### 6 経営・財務強化戦略

安定した経営基盤を更なる高みへ強化

  - 固定費の更なる削減による経営の効率化推進
  - 次世代に繋がる部門への積極的な投資の実施
  - 基幹人材の確保および育成に向けた取り組み



# 国土を守る プロフェッショナル

当社は、斜面对策工事や地盤改良工事など、わが国の特殊土木を70年以上にわたって力強くリードしてきた専門技術者集団です。安全な社会資本の形成に貢献する土木事業を基幹に、建築事業ならびに海外事業へも事業領域を拡大。卓越した独自技術を駆使して、安全・安心な国土創りと豊かで快適なくらしづくりに取り組んでいます。

## 土木 安全で安心な強い国土創りに貢献します。



### 防災技術

#### 安全なくらしを守る斜面防災技術

当社では、防災技術において「のり面・斜面の災害防止・防除と自然環境の保全・再生を実現する」および「構造物を補修・補強することで将来にわたる価値を創造する」ことを重要視しています。

当社の防災技術は、自然災害に強いしなやかな国土形成や持続可能な社会資本の形成・保全に貢献しています。



### 都市土木技術

#### 安心できるくらしを支える地盤改良技術

当社の都市土木技術は、軟弱な地盤を改良することで災害に強い都市創りに貢献しています。また、特定有害物質や放射性物質などで汚染された土壌の浄化・除去にも取り組み、人々の快適な生活環境の保全に努めています。

こうした技術によって、多様化するニーズに応え、人々の安心できるくらしを支えています。

## 建築

お客様のニーズに合わせて、高い品質と責任ある施工をお約束します。



2008年からスタートした建築事業は当社の新たなフィールドです。

専門知識、技術力、マネジメント力をもって、マンションやオフィス、工場など、設計から施工まで付加価値の高い提案でお客様の様々なニーズにお応えしてまいります。



## 海外

高度な技術を駆使して、世界に貢献しています。



国内で培った豊富な経験に基づくノウハウと、高度な独自技術を駆使して、アジア、北米、アフリカ地域など、数多くのプロジェクトに携わり、グローバルに事業を展開しています。

これからも、現地ニーズに合った工法と技術で世界に貢献してまいります。



## 既存技術のリノベーションと新規技術のイノベーションを推進し、独自の新技术を常に提供していきます。

近年多発している集中豪雨災害や地震災害に対する斜面防災技術および都市環境整備の基礎となる地盤改良技術に対し、常に新しい技術を提供し多様化するニーズに応えていくことで、安全・安心な社会資本の形成に貢献し、企業価値を高めていきます。

### R&Dセンターの設立

次世代を担う新たな事業の創造と効率的な研究開発を推進する機関として、Research（調査・研究）とDevelopment（発展・開発）の強化を図る「R&Dセンター」を茨城県つくば市に設立します。



R&Dセンター 2017年12月完成予定

### i-Construction の推進

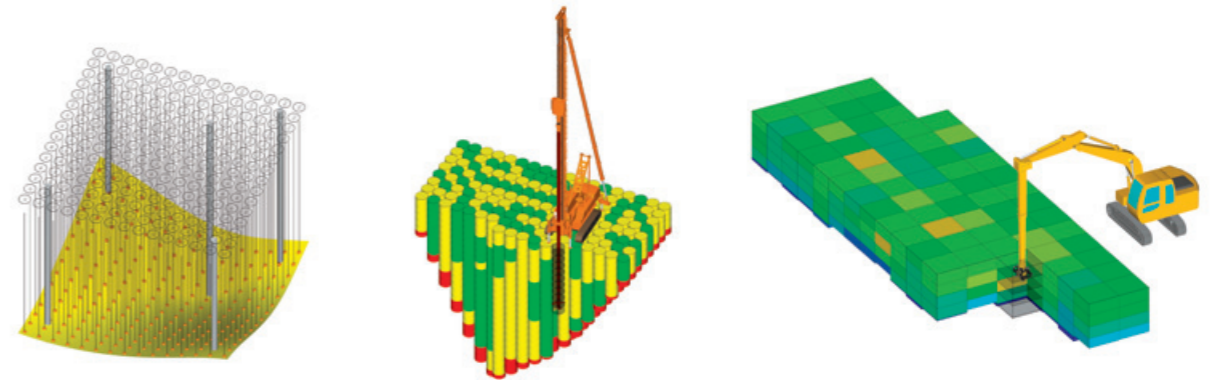
国土交通省では、建設現場の生産性向上を目的とした「i-Construction」（あらゆる建設生産プロセスへ3次元データの活用を図るCIMやICT建機による情報化施工、建設ロボットによる施工の効率化、省力化等）を推進しています。

専門土木業者として、これまで培ってきた知見や強みを活かし、のり面や地盤改良分野に関する「i-Construction」に対応した技術開発を積極的に行います。

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

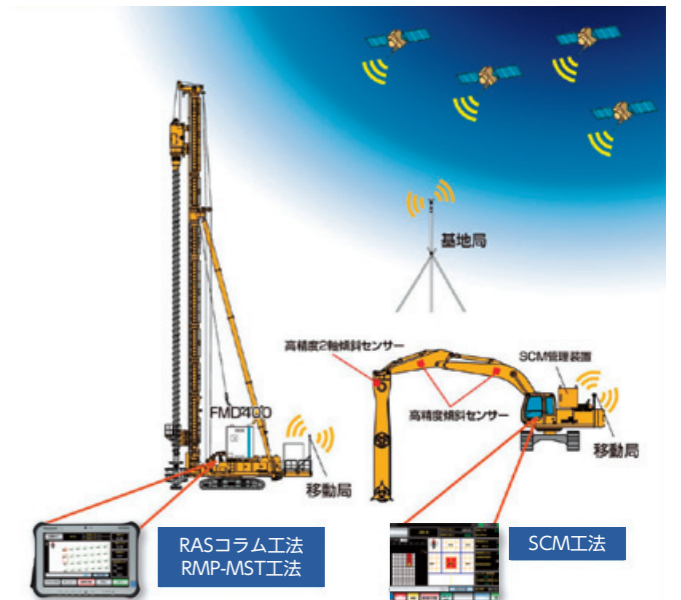
### 3D-ViMaシステム (地盤改良 可視化システム)

計画～施工において、3次元データを活用することを目的としたCIM対応技術です。機械攪拌式地盤改良をはじめ、薬液注入や曲線削孔、地盤調査技術であるエンパソルへ適用範囲を拡大しています。



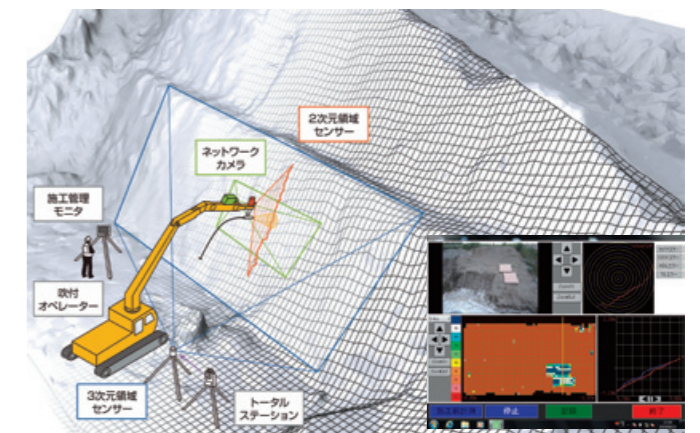
### GNSSステアリングシステム (機械誘導 施工管理併用システム)

衛星測位システムを利用して、地盤改良機を施工計画位置へ高精度に誘導できる[マシンガイダンス機能]と、従来の[施工管理機能]を統合した地盤改良分野の情報化施工に対応した技術です。



### SlopeVision (法面形状 計測システム)

3次元領域センサー等を利用して、吹付作業と同時に吹付厚さの計算を行い、進行状況をリアルタイムに把握することが可能な施工・管理一体型のシステムです。法面分野の情報化施工に対応した技術です。





## 組織的・体系的な安全衛生活動を展開し、安全で快適な職場環境の向上に努めています。

労働安全衛生においては、労働災害を絶滅・減少させることを目的に「リスクアセスメント」、「労働マネジメントシステム」などの考え方、手法を取り入れた「ライト工業労働安全衛生マネジメントシステム」を導入し、日々運用しています。組織的・体系的な安全衛生活動を全社で推進することで、安全で快適な職場環境を形成し、社会的に信頼される企業を目指しています。

## 労働安全衛生マネジメントシステム

当社の労働安全衛生マネジメントシステムは、国際規格の「OHSAS 18001：2007」の規格要求事項、および計画(Plan)－実行(Do)－点検(Check)－改善(Action)のサイクルを回すことで、職場における労働安全衛生レベルを継続的に改善、向上させる仕組みを構築し、全社で活動を展開しています。

### OHSAS18001認証登録

		認証範囲
認証番号	MSA-SS-123	土木構造物及び建築物の設計、 施工並びに除染業務
認証日	2010年11月26日	
再認証日	2016年10月25日	
有効期限	2019年11月25日	
適用規格	OHSAS 18001：2007	
審査登録機関	(株)マネジメントシステム評価センター	
認証範囲に含まれる組織	本社：千代田区九段北4-2-35 宇都宮機材センター、技術研究所、北海道統括支店、東北統括支店、関東支社、 関越統括支店、中部統括支店、西日本支社、中国統括支店、九州統括支店、 福島事業所	



## 安全衛生方針

期初に全社の安全衛生管理方針、安全衛生数値目標を定め、それに基づき、店社、作業所の安全衛生数値目標、目標達成方を定めた計画を策定し、活動を展開しています。

### 2016年度安全衛生方針

1. 「人命尊重・安全第一」を基本理念として災害のない安全でより信頼される企業を目指す。
2. 「労働安全衛生マネジメントシステム」の活発な運用による安全で安心して働ける快適な職場環境の形成を目指す。
3. 労働安全衛生に関する法令、通達、指針、社内規定等を順守する。
4. 職員及び協力会社に対し安全衛生管理方針及び安全衛生管理計画を周知徹底するとともに、安全衛生教育の充実、強化を図り、協力会社と一体となって安全衛生数値目標の達成を目指す。

### 2016年度安全衛生数値目標

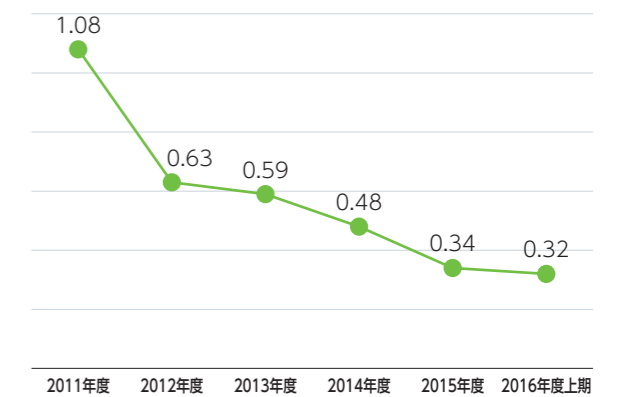
1. 死亡災害ゼロの継続
2. 重大災害（障害等級7級以上）の絶滅
3. 度数率0.33以下

## 安全成績

当社の安全成績は、近年、死亡災害ゼロを継続し、度数率<sup>(※1)</sup>も毎年、前年度を下回る成績を継続しています。  
(2015年度 度数率0.34<sup>(※2)</sup>)

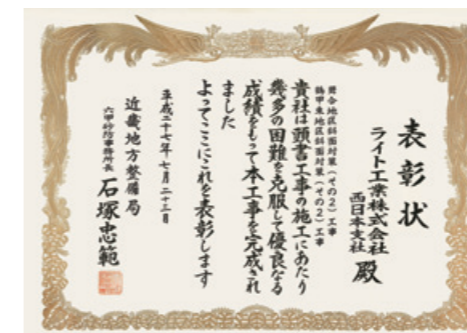
(※1) 度数率とは、延べ労働時間100万時間あたりの災害発生件数  
(※2) 全国の総合工事業（工事現場）の度数率：0.92  
(厚生労働省「平成28年安全の指標」より)

### 度数率の推移



## 社外からの評価

毎年、国や地方自治体等の注文者から多数の表彰状、感謝状をいただいています。



## 環境配慮型の施工技術を通じて、地球環境に貢献していきます。

当社は、建設企業として地球環境を大切に、資源の有効活用、リサイクル、省エネルギーに積極的に取り組んでおります。

安全で環境負荷の少ない工法を開発・提供し、お客様をはじめとして広く社会の皆様信頼いただける社会にとって価値のある会社であり続けることを目標としております。

### 環境方針

自主的な環境管理の実践と継続的改善ならびに環境配慮型技術の開発と展開を通して、持続的発展が可能な循環型社会の構築を推進し、地球温暖化防止をはじめとする地球環境の維持・向上に貢献する。

1. 地球環境の維持・向上
2. 温暖化防止
3. 持続的発展が可能な循環型社会の構築

### 環境マネジメントシステム

当社の環境マネジメントシステムは、国際規格の「ISO 14001 : 2015」の規格要求事項に基づき、環境保護、公害防止、社会のおよび経済的なニーズを考慮に入れながら、環境法令を遵守し、事業活動をより効果的に管理し、継続的に改善させる仕組みを構築し活動を展開しています。

#### ISO14001認証登録

		認証範囲
認証番号	MSA-E S-191	土木構造物及び建築物の設計、施工並びに除染業務
認証日	2003年3月20日	
変更日	2016年10月27日	
有効期限	2017年11月28日	
認証範囲	28 建設 34 エンジニアリング、研究開発	
適用規格	JIS Q 14001 : 2015 (ISO 14001 : 2015)	
審査登録機関	(株)マネジメントシステム評価センター	
認証範囲に含まれる組織	本社：千代田区九段北4-2-35 宇都宮機材センター、技術研究所、東北統括支店、関越統括支店、中部統括支店、西日本支社、中国統括支店、福島事業所	

### 環境保護活動



#### 環境緑化

建設事業では、元の地形を改変する行為が発生することがあります。地形の改変に伴って失われた緑を復元する工事も手がけています。その際に使用する材料は、建設時に発生する伐採木をチップや堆肥化物にして有効利用する、資源循環・自然との共生を図る環境配慮型の技術も保有しております。



#### 土壌汚染対策

2003年に土壌汚染の対策に関わる法律として、土壌汚染対策法が施行され、多くの地域で条例等も施行されています。当社は、土壌汚染調査に関する調査計画の立案から調査の実施、結果の解析まで行っています。

さらに、その後の評価、最適な浄化対策の立案、施工を含めて総合的に行う土壌汚染対策技術を開発・保有しております。



#### 農地除染技術

放射性物質で汚染された農地表土の削り取り技術の開発を、2011年7月以降、国立研究開発法人農研機構農村工学研究所と共同で実施し、その知見と技術を応用した除染作業を国の特別除染地域で行っています。特に日本の農地の物理的特性や削り取り土の粉塵飛散防止を考慮した装備、削り取り厚さの自動管理機能等を備えた小型除染専用機は、安全で効率的に表土を削り取ることが可能な能力を有しています。



## 地域社会との協調を図り、 地域社会の発展と安全・安心に寄与します。

当社は、事業活動を通じて地域社会との協調を図り、地域の自治体、学校、NPOなどのステークホルダーとの対話を通じて、各事業所における地域社会とのコミュニケーション、学会や教育機関への人的貢献などを通して未来への人材育成と地域の発展に貢献していきます。

## 介護事業を通じた高齢化社会に対する取組み

ライト工業グループの株式会社らいとケアではサービス付き高齢者向け住宅の運営を行っております。

当社グループはこれから高齢化社会において、地域の皆様がいつまでも健やかに暮らしていける社会を作りたいと考えており、そのお力添えとなるよう努めております。

(株)らいとケアでは、栃木県宇都宮市で「とちのき鶴田」と「とちのき上戸祭」の二箇所のサービス付き高齢者向け住宅を運営しています。「とちのき」では、自立の方から介護支援を必要とする方まで、多くのご高齢のお客様皆様に「やすらぎのある心豊かな暮らし」をご提供することを目指しております。

「とちのき」ならではのサービスが、お客様の日々の生活サポートのみに留まらない、豊富なイベント活動のご提案です。季節に合わせた行事イベントや映画鑑賞会、温泉ツアーなどの企画を通じて、お客様に日々楽しさや喜びをスタッフとともに共有していただきたいと考えております。

また、地域に根ざす「とちのき」=土地の木でありたいという思いをもとに、地域行事への参加や保育園との交流会、地域スタッフの採用による地域雇用の創出など、地域の活性化を目指した活動にも積極的に取り組んでいます。その他、保育園との交流会やお客さま・地域の皆様双方に向けた夏祭りなどを企画し、地域に対して「開かれた事業所づくり」を心がけています。



お花見イベントでの一コマ



スコープ三味線演奏会



保育園との交流会

## 地域の保育所とつながるお絵かき展示

工事現場は、周辺地域にお住まいの皆様のご理解とご協力なしには成り立ちません。当社はそのことをしっかりと胸に刻み、地域社会の一員として、様々な地域コミュニティの皆様と共に歩んでいきたいと考えています。

そうした考えのもとで、現場と地域の一体化を目指して行った活動の一つが、現場周辺の保育所の子どもたちが描いた絵を現場の仮囲い等のスペースに展示した「お絵かき展示」活動です。

この取り組みは「子どもたちに少しでも工事現場に興味を持ってもらいたい」また、「子どもたちの絵を飾ることで地域の人々にやすらぎを与えられたら」、という思いと共に、地域の保育所の皆様のご協力を得て実現した活動です。

展示を行った仮囲いの前では、自分の描いた絵を夢中になって探し、嬉しそうに指さして教えあう子どもたちの姿が見られました。その楽しそうな光景は、思わずあたたかな気持ちになるものでした。周辺地域の方々もふと足を止め、子どもたちの色鮮やかな絵をにこやかに眺めていらっしゃいました。

子どもたちや地域の方々、和やかに絵を眺めていらっしゃった様子からも、皆様に工事現場をより身近で親しみやすいものとして感じていただけたのではと考えています。当社は地域社会の一員として、地域の雰囲気づくりや貢献活動に積極的に取り組んでおり、今後も様々な活動を行っていく考えです。



子どもたちが自分の絵を教えあう様子



子どもたちの描いた色鮮やかな絵

## 工事現場を彩るイルミネーション展示

背の高い真っ白な仮囲いで囲まれた、閉鎖的で、近寄りやすいイメージのある工事現場。当社は、そのようなネガティブな現場イメージを減らしたいと考えています。そのため、地域の一部として環境に溶け込む現場のあり方を考えていくことが大切だと考え、様々な取り組みを行っています。

当社が施工を担当している工事現場において、「暗い場所をただ単に明るくして安全を守るだけでなく、通るたびに気分も明るくなるような場所にしたい」という作業所長の思いをもとに、現場の仮囲いを利用したイルミネーションの展示を行いました。

現場をより明るい雰囲気にするためどのようなイルミネーションにすればいいか、試行錯誤を重ねました。その結果として、音符等をかたどった可愛い照明を使うことで、色とりどりの音符がおどる、明るく遊び心のあるものに仕上げることができました。公園に隣接した現場では、親子連れの方々をはじめとした地域の方々が、イルミネーションで輝く公園を笑顔でご覧になる様子が見受けられました。当社の担当者も、その様子を目にすることで気持ちが晴れやかになり、より一層仕事への意欲が高まると感じられたようです。

現場と地域との一体感を作り、周辺地域の方々や現場担当者を含む様々な方にご好評いただきました。現場と地域との関わりあいは、当社としても重要なテーマであり、今後も様々な形で地域との調和を図ってまいります。



高取中央地区斜面对策工事でのイルミネーション



葎合地区斜面对策工事でのイルミネーション



## 六甲の防災工事の現場見学会

斜面災害が多発するわが国では非常に重要な技術である斜面防災技術。その技術を研究・発展させていくために社内外の機関と協力して活動していくことにも積極的に取り組んでいます。

阪神・淡路大震災に因んで制定された防災とボランティアの日のイベントとして、当社が施工する国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所より発注された工事において現場見学会を実施しました。神戸大学大学院の方々に実際に行われる防災工事への理解と関心を深めてもらうとともに、研究へのヒントとなればとの思いで開催したものです。

実際の現場の状況や機械の見学を通して六甲山系グリーンベルト整備事業の重要性と防災について体験学習していただきました。普段は教室や研究室での学習が多い学生の方々にとっては、実際の現場と機械を前にしての説明はわかりやすいと好評でした。特に斜面防災の機械は一般的な土木現場で使用されるものと異なり特殊な仕様のため、興味を持たれる方も多くいらっしゃいました。

質疑応答では活発な意見交換がなされました。質問の中には「樹木を残したまま施工する際の注意点や問題点」や「当現場における設計上の考え方」などの専門性の高いものが多くあり、当社担当者もここぞとばかりにマニアックな話をさせていただきました。

今後の国土保全において重要度が増す斜面防災技術を各種機関と連携してさらに進化・発展させるとともに、新たな技術者を育成していくことも当社の非常に重要なテーマであり、これからも様々な形で活動を行っていく考えです。



質疑応答の様子



現場見学会の様子

## 全国各地での清掃活動

当社グループでは、支社支店・営業所だけでなく、個々の現場単位でも全国で清掃活動を行っています。河川、海岸、道路等様々な場所の清掃活動を行っており、地域社会の環境保全の一助になればと思っております。

清掃活動の中にも、地域との関わりが深いものがあり、グループ会社の株式会社東北リアライズが参加している宮城県の「みやぎスマイルサポート・プログラム」では、県の港湾や海岸などの公共スペースを「子ども」に見立て、希望する地域の「里親」となり、一定区域の清掃や美化活動を行う制度を取っており、当社も「里親」として地域に愛着を持って活動しています。

清掃活動は、私たちのできる地域社会への貢献活動の最初の一步のようなものと捉えており、この活動を通して地域とのつながりを深め、その後のより地域に密着した貢献活動につなげていきたいと考えております。



全国の清掃活動の様子

## COLUMN

# 当社の保有資産を活かし、人と人が繋がる住宅を創る

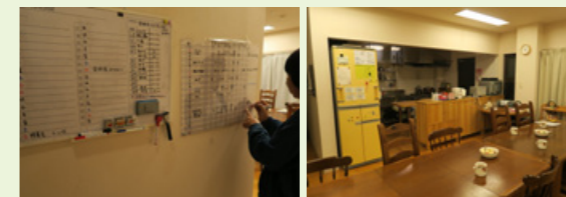
## 新たな暮らし方「コレクティブハウス」

### 多世代で支え合う新たな暮らしのスタイル

コレクティブハウスとは、北欧発祥の住まいの形で、それぞれが独立した専用の住居とみんなで使ういくつかの共用スペースを持ち、役割分担をしながら一つのコミュニティを作って暮らす家です。当番制で食事を作り、みんなで食べるコモンミールと呼ばれるシステムなど、住人同士が寄り添って暮らすスタイルが特長です。

「コレクティブハウス大泉学園」は、当社が6年ほど前からパートナーの方々とともに手がけてきたプロジェクトです。当社の保有している旧社員寮の建物を、多世代で支え合って暮らしていく住まいとして新たな活用を行っております。

NPOコレクティブハウジング社と社会福祉法人つくりこの家がコレクティブハウスのための物件を探していたときに偶然見つかったのが当社の社員寮です。



コモンミールは当番表に各自記入 コモンルーム(共有スペースの食堂)

当社は以前よりビジネスパートナーであった平和不動産(株)とともに、それぞれのノウハウを活かしてプロジェクトに参画しています。当社は実際に住む予定の方の意見を伺い、使い勝手や予算を考慮したリノベーションの施工を行い、平和不動産(株)は居住される方との契約業務等を行っています。



### 色々な人たちが一緒に作りあげる

コレクティブハウスの生活では、人によって「できること」「できないこと」を助け合いながら生活しています。そうした中でお互いのお互いの拠り所となり助け合うことで、歳を重ねても、障害をもって、生き生きと自分らしい暮らしができることを目指しています。

2015年10月からは、社会福祉法人つくりこの家にグループホームとして一部の部屋を貸し出しています。高齢の方も、ヘルパーさんと一緒にコモンミールの当番を工夫しながら担当するなど、暮らしていく中で新しいアイデアもたくさん生まれています。



コレクティブハウス大泉学園のパートナーの皆さん(左から)  
●(社福)つくりこの家 明星さん  
●ハウスマンバー 橋本さん  
●NPOコレクティブハウジング社 宮前さん

### みんなで作りあげるパートナーとして

ハウスマンバーからは、「女性の一人暮らしなので隣人を知っている安心した暮らし」や「ご近所の方にもいらしていただけるイベントのできる家」といった希望が実現できたとの喜びの声も聞かれています。

当社は、これからもコレクティブハウス大泉学園に関わる皆さんと共に「人と関わりあえる暮らしを目指すパートナー」として活動を続けていきます。さらに、将来に向けて、このような素敵な暮らし方ができる住まいのかたちを一つでも多く提案できるように、様々な方法を検討し、活動を続けてまいります。

### 「コレクティブハウス」とは？

家族で無いものが隣人として食堂、庭、プレイルームなどの共有スペースを持ちつつ、一つのコミュニティを形成して暮らすもの。

#### メリット

1. 学生や女性の一人暮らしでも安心して生活できる
2. 高齢者の一人暮らしでも孤立することがない
3. コモンミール(共同の食事)で手作りの温かい食事が食べられる
4. 子育て家庭では母親の相談できる相手が近くにいる
5. 介護が必要な人のいる家庭では、ちょっとした手助けを頼める人がいる
6. 独立した生活空間があるので個々の生活も確保できる



持続的な成長のため、全てのステークホルダーとの協働が必要不可欠であると認識しています。

## 機関投資家向け決算説明会・現場見学会

IR（投資家向けの広報活動）の更なる充実を図ることを目的に、機関投資家・アナリストの方々を対象とした決算説明会を年2回（5月、11月）開催しております。

決算説明会では、代表取締役をはじめIR担当取締役が、当社の決算や業績の推移、今後の取組み方針、最新の技術紹介などについて説明しました。なお、決算説明会で使用した資料は当社ウェブサイトにて一般公開しております。またIR担当取締役が機関投資家やアナリストの方々と直接対話する個別ミーティングを積極的に行っています。

また当社の事業活動に対する理解を深めていただくために、2016年10月に機関投資家やアナリストの方々を対象に宮城県気仙沼市の連結子会社株式会社小野良組の視察を行い、被災地の復興状況の理解を深めていただきました。

今後も更なる情報開示とコミュニケーションの充実を図ってまいります。



決算説明会の様子



現場見学会の様子

## 株主総会

当社は、株主総会を株主様との対話に関する重要な場と考えており、適切な情報開示や、招集通知の早期発送等、株主様の権利が実質的に確保されるよう、適切な対応に努めております。

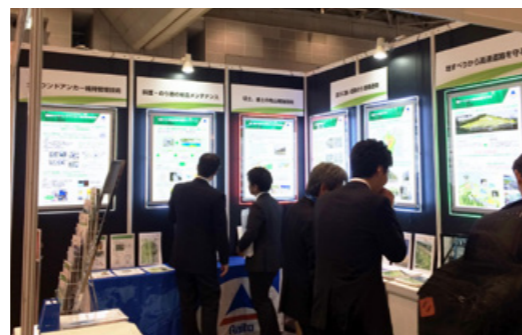
2016年6月29日、東京都千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷（私学会館）にて「第69回定時株主総会」を開催し、約90名の株主様にご来場いただきました。

## 各種展示会への出展

当社が開発した独自技術等を各種展示会を通じてお客様をはじめとするステークホルダーの皆様にご紹介しています。

『EE東北'15』では、国土交通省が推進するCIMを地盤改良に導入した「3D-ViMaシステム」や「Robo-Shot」を、『建設技術展2015近畿』では、「OPTジェット工法」や「マックスパーム注入工法」等の当社の独自技術を紹介いたしました。

今後も当社の技術や取り組みがステークホルダーの皆様にご理解いただけるように努めてまいります。



展示会の様子

会社の経営機構やシステムを健全に保つことを企業統治の基本方針としています。

## コーポレート・ガバナンス基本方針

当社グループは、「顧客、株主、社員をはじめ関係するすべての人々の繁栄を図る」という経営の基本方針を実現するために会社の経営機構やシステムを常に健全に保つことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。

## コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は9名の取締役（うち社外取締役2名）で構成し、原則として毎月1回の取締役会と必要に応じて臨時取締役会を開催し、経営の重要事項についての意思決定を行うとともに、経営の監視・監督機関として、各取締役の職務執行の状況の監督を行っています。

取締役会の開催時に併せて、社長・経営幹部等と社外役員との懇談会（意見交換）を行い、経営判断の客観性の向上、監視機能の強化を図っております。

当社の社外取締役は、高い見識と豊富な実務経験を有しており、各氏の知見に基づき、社外取締役として公正な立場での意思決定の参加と監督機能の強化に貢献しております。

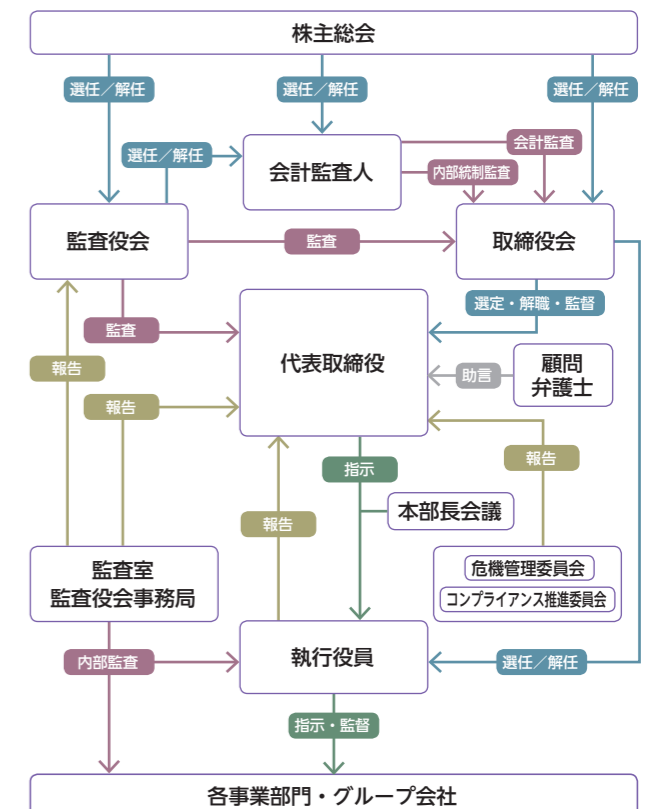
また、一般株主と利益相反の生じる恐れはない独立性を有する社外取締役として適任であります。

取締役の報酬は、筆頭独立社外取締役が委員長を務める報酬委員会で決定しております。

監査役会は常勤監査役1名と社外監査役2名で構成するとともに、監査役は取締役会をはじめとする社内的重要な会議に出席し、取締役の職務執行状況を監査し経営の健全性・透明性の確保に努めております。

また、代表取締役と監査役は、相互の意思疎通を図るため、重要な課題や経営情報などを共有する機会を持ち意見交換を行っています。

会計監査につきましては、連結財務諸表及び個別財務諸表について当社の会計監査人である監査法人より監査を受けており、当社と同監査法人又は当社監査に従事する監査法人の業務執行社員との間には特別な利害関係はありません。





## コンプライアンス教育の充実化と公正な取引の徹底に努めています。

### コンプライアンス基本方針

1. 法令その他の社会的規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行う。
2. 地域社会に貢献する「良き企業市民」たることを目指す。
3. 地球環境の保全と豊かで住みやすい社会づくりに貢献する。

## コンプライアンス教育

当社は、「コンプライアンス基本方針」および「ライト工業グループ行動規範」を定め、ライト工業およびグループ会社の役職員全員に小冊子にして配布し、日々の業務におけるコンプライアンスの徹底を図っています。

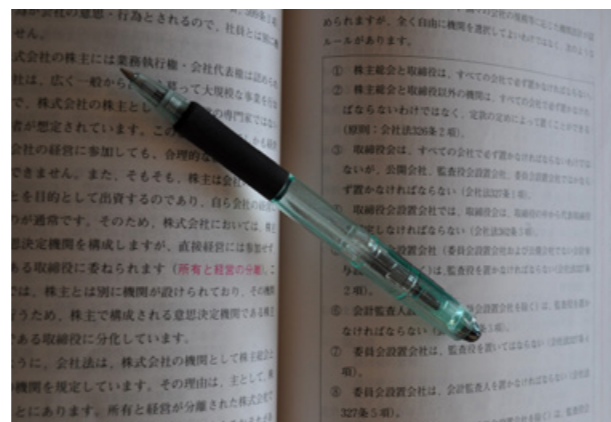
ライト工業役職員に対してのコンプライアンス教育は、法令遵守や企業倫理についての教育を行っているほか、建設業法、建築基準法、労働安全衛生法、情報漏洩防止、インサイダー取引防止等の教育を職種別・部門別にプログラムを設けて行っています。

なお、コンプライアンスに関する懸念事案が発生した際は、その都度役職員に対して教育を行い、コンプライアンスに関する意識の向上に努め、再発防止を図ってまいります。

## 公正な取引

ライト工業グループは、発注者および協力業者等取引業者と公正な取引を実施するため、独占禁止法、建設業法等法令の理解を深めることに努めています。

ライト工業グループ役職員が、業務遂行する上で遵守行動すべき基本的な事項を行動規範に定めており、公正な取引の徹底を図っております。



## 事業活動の持続性を確保するため、リスク管理体制の高度化に注力しています。

ライト工業は、BCP（事業継続計画）から情報セキュリティまで、経営のあらゆる領域において万全のリスク管理体制を構築し、健全かつ持続的な企業活動の実現を目指しています。

## BCP（事業継続計画）

事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）は、大災害が発生した場合でも混乱なく、その影響も最小限にして当社の業務が継続又は速やかに再開できること、さらに大災害発生後の復旧・復興時には当社の技術力等の活用を通じて社会に大きく貢献できることを目的として、当社の体制や役職員の行うべき事項等を定めるものです。なお、この計画は原則として毎年4月に点検・見直しをし、事業継続力の維持・向上に努めています。

### BCP基本方針

1. 役職員（家族含む）、来訪者、工事の従事者等の生命・身体の安全確保を最優先とする。
2. 地域・関係者への配慮を十分に行いつつ、当社の施工した被災箇所の早期復旧及び二次災害の発生拡大の防止に努める。
3. 取引先の復旧活動を支援する。
4. 当社が保有している技術力を十分活用することにより、被災地と連携して救助・復旧活動に努める。
5. 大災害の発生時には、全社一体となって1.~4.の活動を行い、その活動を通じて、取引先や社会からよりいっそう信頼される企業を目指す。

## 情報セキュリティ

### 情報セキュリティの強化

当社は、情報管理規定に基づき全社を挙げて情報セキュリティにおけるリスク管理に努めています。社内情報や機密情報の漏洩防止に関する具体的な対策については、「情報漏洩防止マニュアル」を作成し、グループ会社を含む役職員に周知徹底しています。また、標的型攻撃等のサイバー攻撃に備えて、高度なソリューションを導入し、セキュリティレベルの向上を図っています。

### 個人情報の管理

当社では、業務上取り扱うお客様・取引関係者・従業員などの個人情報について、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守し、かつ取り扱いに関するルールや体制を確立し、個人情報を適切に管理しています。

## 働きやすい環境の整備と 従業員の能力開発強化に取り組んでいます。

従業員一人ひとりが着実に成長し、その能力を最大限発揮できるよう、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みや、能力開発支援の強化に取り組んでいます。

### 人権の尊重

#### 人権の尊重に関する行動規範

「ライト工業グループ行動規範」において、「役職員等は、社内においても、社外においても、基本的人権を尊重し、性別、国籍、人種、宗教、社会的身分、身体上の理由等による差別を行ってはならない。」と人権を尊重するための行動規範を定めています。

#### ワークライフバランス

当社では、働きやすい環境を整備し、仕事と生活の調和が図れるように「ワークライフバランス」の実現に向けた取り組みとして、①育児休業および育児時短勤務、介護休業など制度の整備と充実、②時間外労働時間の削減を推進しています。

また、年末年始休暇や夏季休暇の期間に関しては、計画的な有給休暇の取得を奨励し、連続休暇とすることで心身の休息、リフレッシュを行い業務の効率化が図られ、ワークライフバランスの実現につながるよう取り組んでいます。

### 人材の育成

当社では、性別・国籍・人種などに関わらず、グローバルに活躍するための多様な価値観を持ち、広い視点で物事を捉えられる人材の育成に努めています。

経営理念である「新たな価値に挑戦し、創造し続ける」のもと、従業員一人ひとりが成長し、その能力を最大限発揮できる環境を作ることが経営の重要課題と捉えています。その認識を踏まえ、従業員の能力開発支援の強化に取り組んでいます。

#### 教育・研修プログラムの例

- 導入時研修
- 現場実習(OJT)
- 技術研修(施工技術系)
- 営業担当者研修(営業系)
- 管理者研修
- 技術士、施工管理技士など各種資格取得用研修



## 当社品質への信頼をさらに高めるため、 自然との共生を基本とする高度な建設技術の開発と 丁寧な運用に取り組んでいます。

安全で安心できる高品質の構造物の建設を通じて、国土保全、社会の発展の一翼を担うため、自然との共生を基本とする高度な技術の開発と、その丁寧な運用により、常に品質の維持、向上に努め、より信頼される企業を目指しています。

### 品質方針

自然との共生を基本とする高度な建設技術の開発と丁寧な運用を通して、当社品質への信頼性を高め、人々が安心して暮らせる社会の発展に貢献する。

1. 安心して暮らせる社会の構築
2. 自然との共生
3. 品質への信頼性確保

### 品質向上への取り組み

より良い品質を実現させるための取り組みとして、当社が最重要視しているのが、高品質を達成することが可能となる建設技術の活用とその丁寧な運用です。

実際の施工により集積されたデータをもとに、建設技術を開発、改良していくことで、様々な条件にある職場において、より良い品質を得られるよう常に努めています。

### 品質マネジメントシステム

当社の品質マネジメントシステムは、国際規格の「ISO 9001:2015」の規格要求事項、計画(Plan)－実行(Do)－点検(Check)－改善(Action)のサイクルを回すことで、成果品の品質管理を継続的に改善させる仕組みを構築し、1999年3月18日に認証され、全社で活動を展開しています。

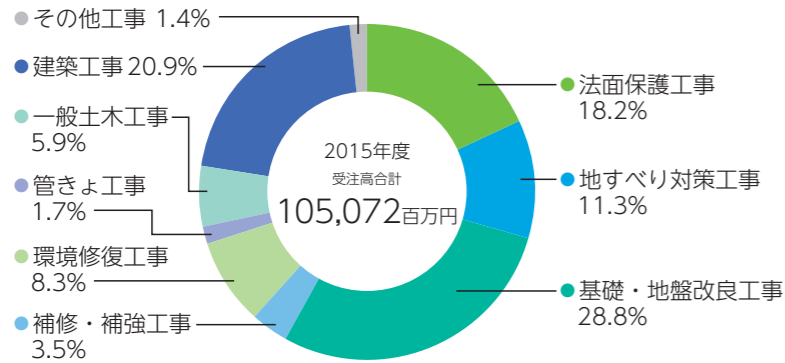
#### ISO9001認証登録

		認証範囲
認証番号	MSA-QS-200	土木構造物及び建築物の設計、 施工並びに除染業務
認証日	1999年3月18日	
再認証日	2016年10月27日	
有効期限	2019年11月28日	
認証範囲	28 建設 34 エンジニアリング、研究開発	
適用規格	JIS Q 9001:2015 (ISO 9001:2015)	
審査登録機関	(株) マネジメントシステム評価センター	
認証範囲に含まれる組織	本社：千代田区九段北4-2-35 宇都宮機材センター、技術研究所、北海道統括支店、東北統括支店、関東支社、 関越統括支店、中部統括支店、西日本支社、中国統括支店、九州統括支店、 福島事業所	

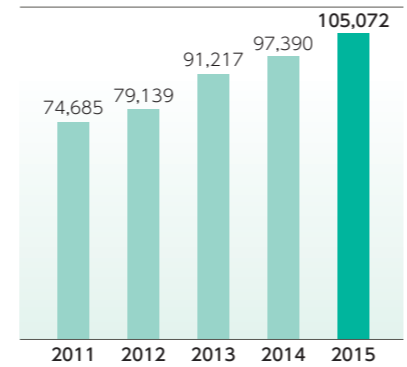




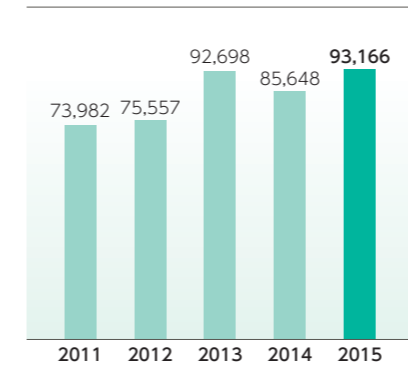
連結工種別受注高



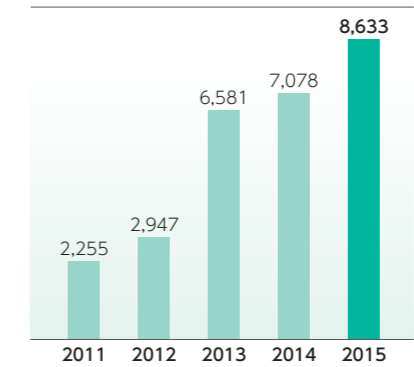
受注高 (百万円)



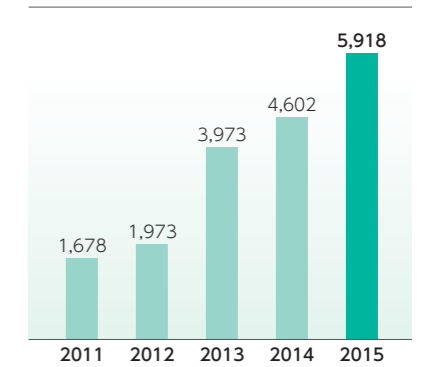
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



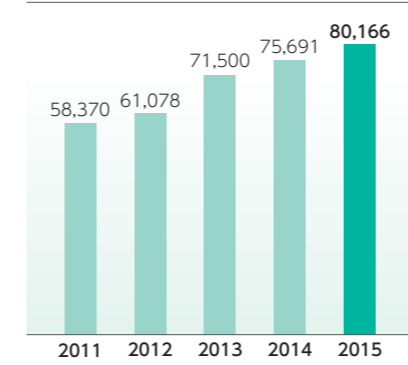
連結貸借対照表(要旨) (百万円)

科目	期別	
	前期 2015年3月31日現在	当期 2016年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	53,829	58,326
固定資産	21,861	21,840
有形固定資産	14,935	14,184
無形固定資産	124	120
投資その他の資産	6,802	7,535
資産合計	75,691	80,166
<b>負債の部</b>		
流動負債	31,711	31,960
固定負債	2,348	1,856
負債合計	34,059	33,817
<b>純資産の部</b>		
株主資本	42,040	47,492
その他の包括利益累計額	△ 409	△ 1,142
純資産合計	41,631	46,349
負債・純資産合計	75,691	80,166

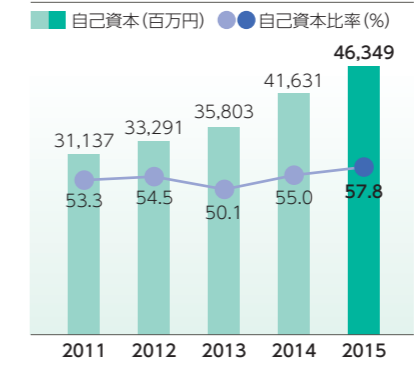
連結損益計算書(要旨) (百万円)

科目	期別	
	前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	当期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	85,648	93,166
売上原価	70,307	75,871
売上総利益	15,341	17,295
販売費及び一般管理費	8,263	8,661
営業利益	7,078	8,633
営業外収益	470	355
営業外費用	184	322
経常利益	7,364	8,666
特別利益	214	361
特別損失	188	504
税金等調整前当期純利益	7,389	8,523
法人税等	2,786	2,605
当期純利益	4,602	5,918
親会社株主に帰属する当期純利益	4,602	5,918

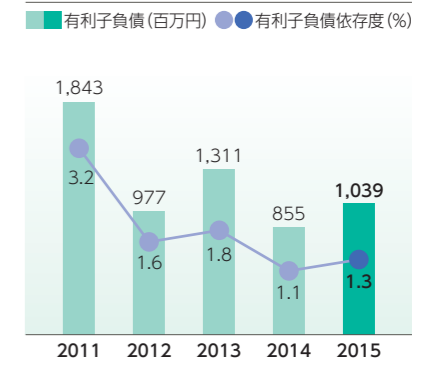
総資産 (百万円)



自己資本と自己資本比率



有利子負債と有利子負債依存度



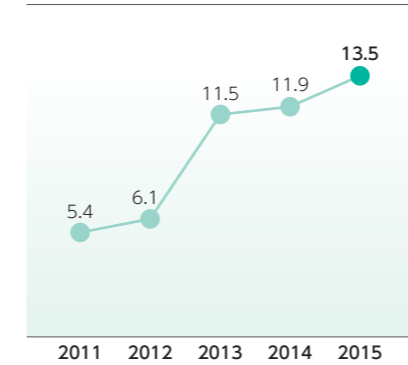
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (百万円)

科目	期別	
	前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	当期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	9,284	7,139
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,988	△ 4,012
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,315	△ 801
現金及び現金同等物に係る 換算差額	362	△ 162
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,343	2,162
現金及び現金同等物の 期首残高	12,099	17,443
現金及び現金同等物の 期末残高	17,443	19,606

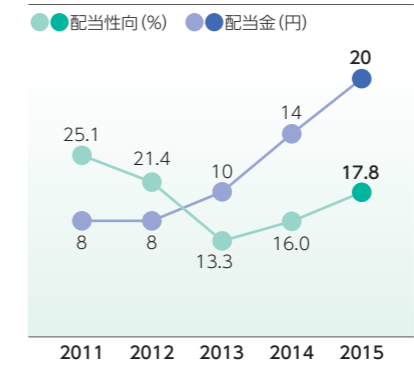
連結包括利益計算書 (百万円)

科目	期別	
	前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	当期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
当期純利益	4,602	5,918
その他の包括利益	1,078	△ 461
その他有価証券評価差額金	326	△ 666
土地再評価差額金	107	48
為替換算調整勘定	432	△ 174
退職給付に係る調整額	211	331
包括利益	5,680	5,456

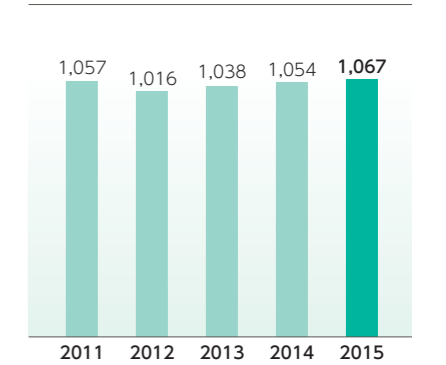
ROE (%)



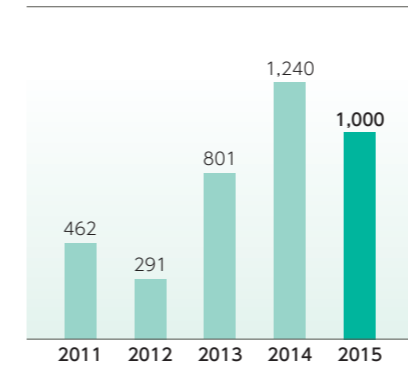
配当性向と配当金



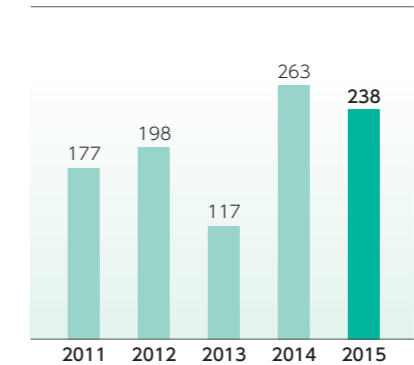
従業員数 (人)



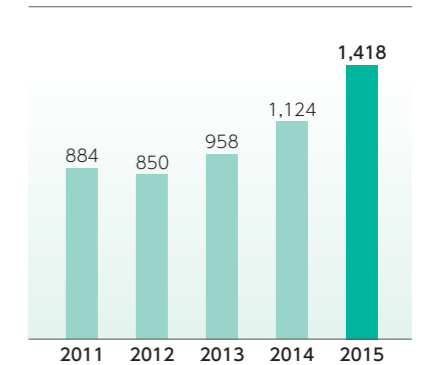
機械投資額 (百万円)



研究開発費 (百万円)



減価償却費 (百万円)





## ライト工業株式会社 会社概要

社名	ライト工業株式会社	登 録	建設コンサルタント業 建26第612号 地質調査業 質24第224号 測量業 第(10)-7615号 計量証明事業 第620号 土壌汚染状況調査指定機関 2003-1-125 一級建築士事務所 東京都知事登録 第55794号
本社所在地	東京都千代田区九段北四丁目2番35号		
創 業	1943年(昭和18年)7月1日	営 業 種 目	法面保護工事 斜面安定・防災工事 地盤改良工事 杭・連続壁工事 管布設工事 環境対策工事 調査(汚染、地盤) 構造物補修・補強工事 建築工事
代 表 者	代表取締役社長 鈴木 和夫		
資 本 金	61億1,947万5,000円		
株 式 市 場	東京証券取引所第1部上場		
従 業 員 数	863名(2016年3月31日現在)		
建設業許可	国土交通大臣許可 第3660号		

## グループ会社一覧

会社名	主な事業内容	設立	所在地
株式会社みちのクリアライズ	建設工事の設計・施工・管理・請負	2006年 3月	岩手県盛岡市津志田中央2-3-33
株式会社東北リアライズ	建設工事の設計・施工・管理・請負	2001年 4月	宮城県仙台市太白区大野田5-20-7
株式会社小野良組	土木建築請負業、建築設計及び管理	1957年12月	宮城県気仙沼市南町4-1-11
株式会社福島リアライズ	建設工事の設計・施工・管理・請負	2008年 4月	福島県郡山市安積町荒井字梅田前35-1 北辰ビル3階
株式会社新潟リアライズ	建設工事の設計・施工・管理・請負	2010年10月	新潟県長岡市千歳3-5-17千歳ビル101号
株式会社アウラ・シーイー	建設資機材販売/ 車両・事務用機器・ 建設機械等のリース業/ 事務用機器・ 設備等の販売/ 独身寮等厚生施設の 管理受託事業/ 建設工事の設計・施工・ 管理・請負	1996年 4月	神奈川県横浜市中区伊勢佐木町2-66 満利屋ビル6階
株式会社東海リアライズ	建設工事の設計・施工・管理・請負/ 建設資材の販売	1998年 8月	愛知県瀬戸市南菱野町507
サンヨー緑化産業株式会社	建設工事の設計・施工・管理・請負	2011年 2月	広島県広島市安佐南区伴北6-9775-1
株式会社山口リアライズ	建設工事の設計・施工・管理・請負	2009年12月	山口県山口市小郡下郷3051マイルス山口
株式会社九州リアライズ	建設工事の設計・施工・管理・請負	2001年 4月	福岡県福岡市博多区堅粕1-28-44
株式会社やさしい手らいと	訪問介護事業、居宅介護支援事業	2005年11月	神奈川県横浜市中区新川町5-28-17 オークⅢマンション2階
株式会社らいとケア	高齢者賃貸住宅の運営、訪問介護事業、 居宅介護支援事業	2009年10月	栃木県宇都宮市鶴田町231-20
株式会社エド・エンタープライズ	損害・生命保険代理店業	1994年 9月	東京都千代田区岩本町2-18-3 NBS岩本町ビル6階
RAITO, INC.	土木工事業	1997年 6月	23595 Cabot Blvd, Suite 106 Hayward, CA 94545 USA
Raito Engineering & Construction Limited	土木工事業	2014年 1月	Room 2504, 25/F, Bonham Trade Centre, 50 Bonham Strand, Sheung Wan, Hong Kong





〒102-8236 東京都千代田区九段北四丁目2番35号  
TEL.03-3265-2551 (大代表) FAX.03-3265-0879  
<http://www.raito.co.jp>

本レポートについてのお問い合わせ先

ライト工業株式会社 経営企画部  
TEL. 03-3265-2555



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。